



ふれあい広場の紅梅が咲き始めました。厳しい寒さの中、少しずつ春が近づいています。卒業学年のみなさんは、卒業式までカウントダウンに入りましたね。様々な感染症の流行がなかなか収まらない昨今、くれぐれも無理をせず、体調管理に気をつけて乗り切ってください。

先日の作品展及び授業参観に際しては、お忙しい中をご来校くださり、誠にありがとうございました。これからもより良い授業づくりに努めてまいる所存ですので、お気づきのこと等がありましたらお聞かせいただけると幸いです。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。



府立支援学校 PTA 協議会 冬季研修会

1 月 17 日（金）に防災についての研修会が開催され、松本 PTA 会長とともに出席しました。講師は湯井 恵美子氏（福祉防災コミュニティ協会 理事）で、「特別支援学校を中心として みんなで助かるために」とのテーマのもと、被災した際の避難生活を想定した備えについて、南海トラフ地震を見すえて話されました。特に、避難生活が続くと問題になる「トイレ」について、人間は最低でも一日 6 回は排泄することから、必ず災害時用のトイレを備えておくように、と力説されました。この研修会で学んだことを、本校の災害時の備えに活かしていきたいと思います。

第 3 回 学校運営協議会

2 月 17 日（月）に第 3 回学校運営協議会を開催しました。この 1 年間の本校の教育活動と学校運営の総括および来年度の学校経営計画について、委員の方々から承認していただきました。

委員の方々からは「これからも子どもたちに寄り添い、チームとして子どもたちを支えることによって、子どもたちのウェルビーイングを実現して欲しい」と激励されました。

「To-Be 平野支援学校」について

昨年度、「学校教育目標」を改定し「めざす児童生徒像」を新たにつくりました。そして今年度は「各学部の目標」と「めざす教師像」を設定したので、これらを包括して「本校がめざす姿」を図式化して表現しました。それが「To-Be 平野支援学校」です。（裏面の図をご覧ください）

学校の主役は子どもたち。自分らしさ、多様性を大切に、大きく育ててほしいという想いをカラフルな樹木で表現しました。樹木（子どもたち）が豊かに育つには「土、水、太陽」が必要です。土は、日々の教育（各学部目標）と教師力（めざす教師像）。土壌の質を高める水は、矢印と太線（いずれも水色）で、教育活動がめざす方向性を示しました。そして、日々の教育活動は何のためにあるのか、その到達点を太陽で表現しました。

裏面の図は白黒ですが、本校 HP にカラー版を掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

教職員全員がこの図に込められた意味を共有し、チームとして協働することによって、子どもたちのウェルビーイングを実現していく所存です。今後も本校の教育活動へのご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

[本校 HP の掲載場所：[学校運営](#) → [To-Be 平野支援学校](#)]